

乾田直播栽培における「あきたこまち」の目標生育量と生育診断値の策定

福島県農業試験場相馬支場
平成15～17年度試験成績概要

- 1 部門名 水稲－水稲－生育診断予測・浜通り平坦・水稲直播
分類コード01－01－25687500
- 2 担当者 中山秀貴・木田義信
- 3 要 旨

目標収量50～55kg/aとした場合の乾田直播栽培における「あきたこまち」の各ステージごとの目標生育量と生育診断値を3カ年の支場内栽培試験の結果から策定した。

(1)目標収量を50～55kg/aとしたときの目標穂数、m²籾数はそれぞれ330～370本/m²、24,000～27,000粒/m²であると判断された。また、稈長が85cmを超えると倒伏が増加するため、目標稈長は85cm以下と判断された。

(2)幼穂形成期(7月20日頃)の生育量と籾数には相関関係があり、上記目標籾数確保のための幼穂形成期の生育診断値は、草丈(cm、以下略)×莖数(本/m²、以下略)×葉色(SPAD502値、以下略)=100～130×104、または、草丈×莖数=260～330×102であると判断された。また、幼穂形成期の目標生育量は、草丈66～70、莖数380～430、葉色40～43であると判断された。

(3)6月下旬における生育量と籾数にも相関関係が見られ、目標籾数確保のための6月下旬の生育診断値は、草丈×莖数×葉色=300～420×102、または草丈×莖数=80～115×102であると判断された。また、この時期の目標生育量は、草丈35前後、莖数270前後、葉色40前後であると判断された。

(4)幼穂形成期に目標生育量に達していない場合には、穂肥(窒素0.2kg/a程度)を実施する。

- 4 その他の資料など